

トラック輸送情報（平成22年6月分）

平成22年10月5日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：中野、金子、菊池 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

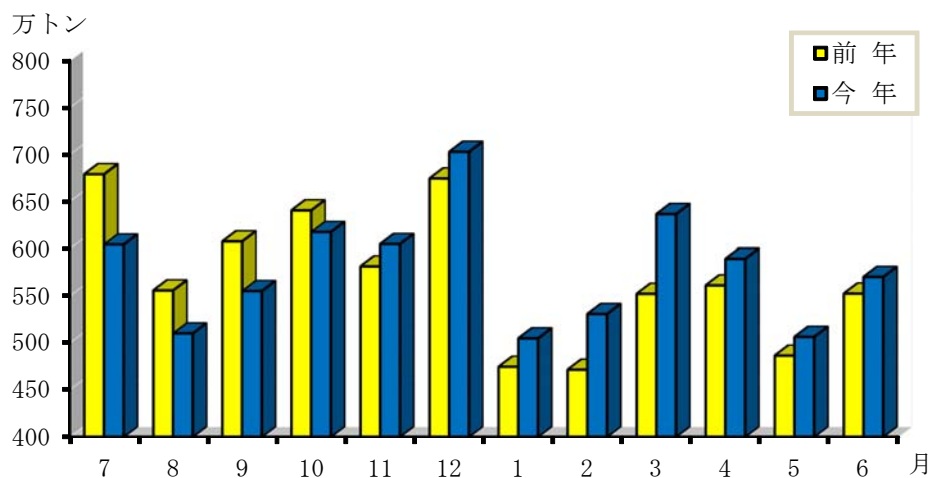
調査対象27社の本月の輸送量は、5,705,853トンで、前月と比べ総輸送量が約64万トン増加したため、前月比112.6%（季節調整済み100.8%）となり、前年同月との比較では、約18万トン増加したため、前年同月比103.2%の実績であった。

なお、平均稼働日数は25.5日で、前月と比べ3.0日増加し、前年同月との比較では、0.1日増加であった。稼働1日当たりの輸送量は、223,759トンで、前月と比べ約1千トン減少したため、前月比99.4%となり、前年同月との比較では、約6千トン増加したため、前年同月比102.8%の実績であった。

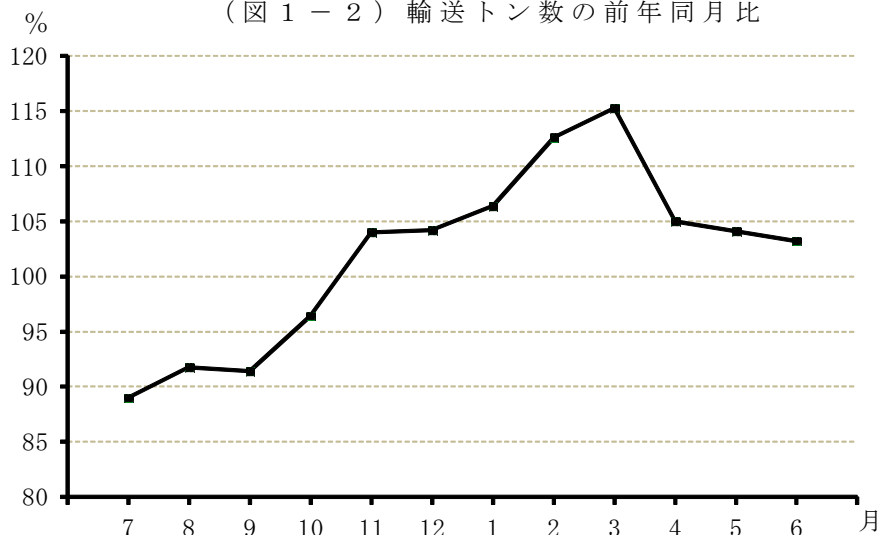
（図1-1、図1-2参照）

注）平成21年4月から貨物輸送の調査対象については、1社増え、27社となった。

（図1-1）輸送トン数の推移



（図1-2）輸送トン数の前年同月比



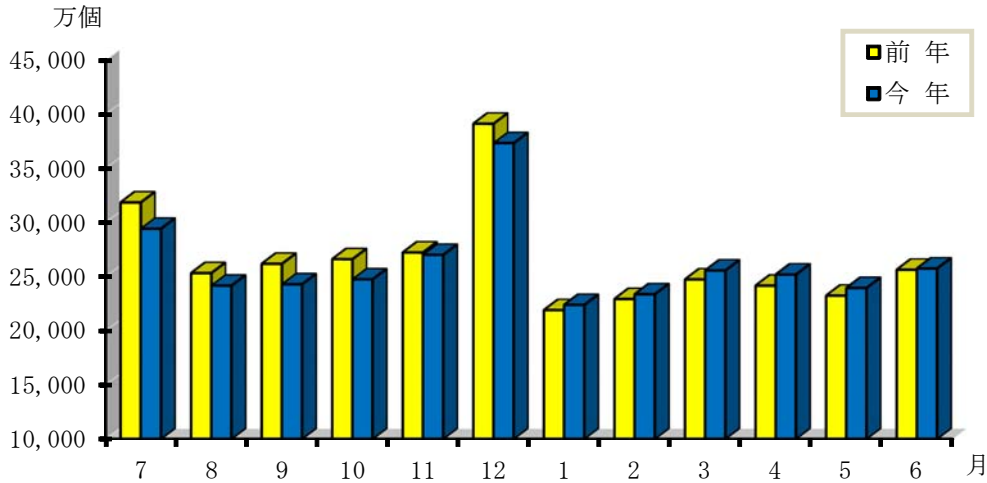
(2) 宅配便の概況

調査対象 18 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、257,629 千個で、前月と比べ 約 1,796 万個増加したため、前月比 107.5% (季節調整済み 100.7%) となり、前年同月との比較では、約 112 万個増加したため、前年同月比 100.4%の実績であった。

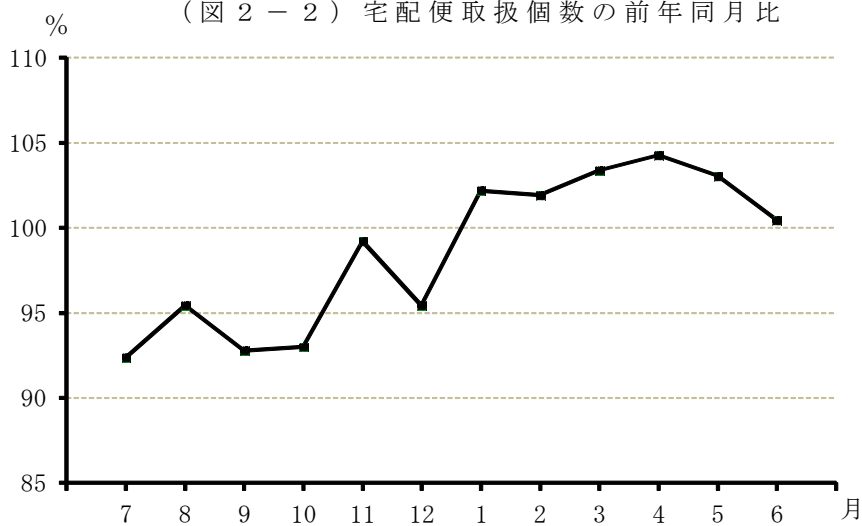
(図 2-1、図 2-2 参照)

注) 平成 22 年 4 月から宅配便輸送の調査対象については、1 社減り、18 社となった。

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、すべての品目で、輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増がすべての品目で見られたほか、倉庫から出る貨物増が「金属製品」、「機械」、「化学工業品」、「食料工業品」、「日用品」で見られた。主な増加地域は、東北、関東、大阪、中国であった。

前年同月と比べると、工場・生産地からの貨物増や景気回復の兆しが「農水産品」、「金属製品」、「化学工業品」等で見られた一方で、商社・問屋からの貨物減、倉庫から出る貨物減、不況の影響が「日用品」で見られた。主な増加地域は、東京、関東、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国であった。一方、「日用品」の主な減少地域は、関東であった。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※増減要因		
	著増	増	変らず	減					
前 月 に 比 べ て	農水産品	2	4	12	野菜、果物	東北、関東、中国	4, 8		
	金属製品		9	12	その他の金属製品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7		
	機械	1	11	9	電気機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7		
	化学工業品		12	10	合成樹脂、その他の化学工業品	東北、関東地方、中部地方、近畿地方、中国	4, 7		
	繊維工業品		7	14	1	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4		
	食料工業品	3	6	11	製造食品、飲料	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7		
	日用品	1	13	8	書籍・印刷物、身廻品、玩具、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、九州、全国	4, 5, 7		
	その他	2	9	10	1	宅配便、百貨店配送品	関東地方、大阪、全国	2, 4, 8	
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品		4	12	1	1	その他の農産品	4, 9	
	金属製品	1	6	13	1	その他の金属製品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 9	
	機械	3	7	9	1	1	機械部品	東北、神奈川、関東、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	9
	化学工業品	1	8	11	2	合成樹脂、その他の化学工業品	東京、関東、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 9	
	繊維工業品	1	3	15	3		中国	9	
	食料工業品	1	3	12	4	製造食品		9	
	日用品		5	12	4	1	書籍・印刷物	関東	5, 7, 9
	その他	2	4	9	3	4	百貨店配送品	東京 全国	2

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都府県(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都府県を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。
なお、地方運輸局に6大都府県を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 803 社／調査対象事業者数 1,089 社）の輸送量は、前月比 109.8%、前年同月比 104.4%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北 信	陸 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	109.8 %	116.6 %	108.6 %	105.1 %	113.6 %	107.9 %	110.4 %	113.1 %	104.2 %	100.2 %	106.8 %	
前年同月比	104.4 %	104.9 %	102.3 %	102.6 %	111.0 %	107.3 %	100.9 %	110.5 %	103.2 %	100.0 %	97.4 %	

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 116.6%、対前年同月比 104.9%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」、「工業用非金属鉱物」、「セメント」等が、工場・生産地からの貨物増等により「穀物」、「動植物性飼・肥料」等が、天候の影響等により「水産品」等がそれぞれ増加したと回答する事業者が多かった。一方、季節的需要減により「揮発油」等が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、農作物の収穫時期等により次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 108.6%、対前年同月比 102.3%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「食料工業品」等の増加、景気回復の兆し等により「砂利・砂・石材」等が増加したと回答する事業者が多かった。一方、季節的需要減等により「揮発油」等が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 105.1%、対前年同月比 102.6%であった。品目別には、建設関連の需要増により「その他の石油製品」が増加した一方、不況の影響により「機械」、「揮発油」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 113.6%、対前年同月比 111.0%であった。品目別には、輸出入の貨物増や工場・生産地からの貨物増等により「機械」等の増加、建設関連の需要増等により「金属製品」等が増加したと回答する事業者が多かった。一方、工場・生産地からの貨物減により「木材」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 107.9%、対前年同月比 107.3%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「機械」等の増加、季節的需要増等により「日用品」等が増加したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 110.4%、対前年同月比 100.9%であった。品目別には、お中元等の季節的需要等により「食料工業品」等が増加したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 113.1%、対前年同月比 110.5%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「鉄鋼」、「機械」、「その他の製造工業品」等が増加した一方、季節的需要減等により「その他の石油製品」等が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 104.2%、対前年同月比 103.2%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「金属製品」の増加、季節的需要増等により「食料工業品」等が増加したと回答する事業者が多かった。一方、「木材」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 100.2%、対前年同月比 100.0%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「鉄鋼」、「その他の製造工業品」等の増加、季節的需要増等により「食料工業品」等が増加したと回答する事業者が多かった。一方、梅雨入りによる建設関連の需要減等により「砂利・砂・石材」、「セメント」等が、天候等により「野菜・果物」等が、口蹄疫の影響により「動植物性飼・肥料」等がそれぞれ減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比 106.8%、対前年同月比 97.4%であった。品目別には、建設関連の需要増により「金属製品」が増加した一方、季節的需要減等により「取り合せ品」が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局		北	東	関	北	中	近	中	四	九	沖	全
		海	道	北	東	陸	信	部	畿	国	国	州	縄	計
1. 穀物	増	3	3			1						1		8
	減	1								1				2
2. 野菜・果物	増	1	6			1	1					2		11
	減		1								1	9		11
3. その他の農産品	増	3	1						1	2	1			8
	減	1								1	1	2	1	6
4. 畜産品	増	1	1						1			1		4
	減									1	1			2
5. 水産品	増	4				1								5
	減	1	1				1					2		5
6. 木材	増	1	3											4
	減	4	1			1					1	2	2	11
7. 薪炭	増													
	減													
8. 石炭	増	1										1		2
	減	1	1											2
9. 金属鉱物	増					3						1		4
	減													
10. 砂利・砂・石材	増	16	2			1				4		1		24
	減	7	1							4		5		17
11. 工業用非金属鉱物	増	4	1							2		1		8
	減		2				1					1		4
12. 鉄鋼	増	1	2	1					1	6		3		14
	減	1	1			1			1			1		5
13. 非鉄金属	増		1											1
	減					1								1
14. 金属製品	増		3			3	1	2	1	2			3	15
	減						1	2	1			2		6
15. 機械	増		1			4	5	2	6	1	6	1		26
	減				1		2	2	2		6	1		14
16. セメント	増	7	1			3	1		1			3		16
	減	1				1	1					6		9
17. その他の窯業品	増		1	1	1			1	1	1				6
	減									1				1

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
18. 揮 発 油	増											
	減	3	2	1						1		7
19. その他の石油製品	増			1	1				1	1		4
	減				1			3		1		5
20. コークス・ その他の石炭製品	増				1							1
	減											
21. 化学薬品	増				1		1					2
	減	1	1							1		3
22. 化学肥料	増	1						1		1		3
	減		1		2			1				4
23. その他の化学工業品	増		1					2			1	4
	減							4				4
24. 紙 ・ パルプ	増	1			1		1		1	2	1	7
	減	2		1	1	1		1		1		7
25. 繊維工業品	増				1				1			2
	減									1		1
26. 食料工業品	増	2	3	3	2		4	5	2	5	1	27
	減		1	2			1	2		4		10
27. 日用品	増	3	2	1		2	2	4		3		17
	減			1				2		2		5
28. その他の製造工業品	増		2	2				4		5		13
	減			1		1				3		5
29. 金属くず	増				1						1	2
	減											
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	7	1	2						1		11
	減	1	1	2						3		7
32. 廃棄物	増	1	1							1		3
	減	1								2		3
33. 輸送用容器	増				1			1	1			3
	減	1										1
34. 取り合せ品	増		1				1	2				4
	減		1				1	2		1	2	7
35. その他	増		1	3	2			7		1		14
	減		1	1	1			1	1	1		6